

群馬県庁舎等施設管理計画 新旧対照表

2 庁舎等を取り巻く現状と課題

4 ページ

改定後	改定前
<p>(2) 庁舎等共通課題</p> <p>庁舎等の多くで老朽化が進行しており、今後、一斉に大規模改修や更新の時期を迎えることから、多額の維持管理や更新費用が必要となると見込まれます。</p> <p>その一方で、維持管理や更新に充てることのできる財源は限られており、十分な対策を講じない限り、県行政の根幹を支える庁舎等の適切な運営に多大の支障を及ぼすことが懸念されます。</p> <p>このため、次のように戦略的な維持管理を推進してコストの縮減を図るとともに、新たな財源確保に取り組んでいくことが必要となります。</p> <p>① 機能・役割の再検討</p> <p>人口減少・少子高齢化のさらなる進展など社会情勢の変化により、施設の利用度が低下したり、県が提供する行政サービス内容について再検討が必要となることが予想されます。</p> <p>限られた財源を有効に活用するためにも、機能や役割など施設のあり方についての見直しを継続的に実施し、その結果、スペースに余剰が生じていたり、利用方法の再検討が望ましいと判断される施設については、集約・転用・縮小・廃止等（以下「機能集約等」という。）について検討を進める必要があります。</p> <p>また、老朽化に伴い改修や更新が必要となった場合についても、漫然と従来どおりの機能・規模とするのではなく、真に必要な機能や役割は何か十分議論した上で、施設のユニバーサルデザイン化やダウンサイジング等を検討する必要があります。</p>	<p>(2) 庁舎等共通課題</p> <p>庁舎等の多くで老朽化が進行しており、今後、一斉に大規模改修や更新の時期を迎えることから、多額の維持管理や更新費用が必要となると見込まれます。</p> <p>その一方で、維持管理や更新に充てることのできる財源は限られており、十分な対策を講じない限り、県行政の根幹を支える庁舎等の適切な運営に多大の支障を及ぼすことが懸念されます。</p> <p>このため、次のように戦略的な維持管理を推進してコストの縮減を図るとともに、新たな財源確保に取り組んでいくことが必要となります。</p> <p>① 機能・役割の再検討</p> <p>人口減少・少子高齢化のさらなる進展など社会情勢の変化により、施設の利用度が低下したり、県が提供する行政サービス内容について再検討が必要となることが予想されます。</p> <p>限られた財源を有効に活用するためにも、機能や役割など施設のあり方についての見直しを継続的に実施し、その結果、スペースに余剰が生じていたり、利用方法の再検討が望ましいと判断される施設については、集約・転用・縮小・廃止等（以下「機能集約等」という。）について検討を進める必要があります。</p> <p>また、老朽化に伴い更新が必要となった場合についても、漫然と従来どおりの規模とするのではなく、真に必要な機能や役割は何か十分議論した上で、ダウンサイジングを検討する必要があります。</p>

4 基本的な方針

6 ページ

改定後	改定前
<p>(2) 長寿命化等の推進</p> <p>① 長寿命化</p> <p>定期的な点検によって施設の劣化や損傷の状況を把握し、施設への影響等について診断・評価を行います。</p> <p>予防保全による経費削減効果が高い施設を優先して作成した「長期保全計画」を活用し、計画的な保全を進めることで、トータルコストの縮減や予算の平準化を図ります。</p> <p>また、改修及び更新時には、施設のユニバーサルデザイン化について検討します。</p> <p>なお、長寿命化の具体的取組にあたっては、「群馬県県有施設長寿命化指針」の考え方や手法等を参考としながら実施するものとします。</p>	<p>(2) 長寿命化等の推進</p> <p>① 長寿命化</p> <p>定期的な点検によって施設の劣化や損傷の状況を把握し、施設への影響等について診断・評価を行います。</p> <p>予防保全による経費削減効果が高い施設を優先して作成した「長期保全計画」を活用し、計画的な保全を進めることで、トータルコストの縮減や予算の平準化を図ります。</p> <p>なお、長寿命化の具体的取組にあたっては、「群馬県県有施設長寿命化指針」の考え方や手法等を参考としながら実施するものとします。</p>